

## 放課後等デイサービス けこたまな 柳谷 支援プログラム

法人理念			
支援方針		学校の放課後時間等において、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び本児が社会との交流を図ることが出来るよう、個別の支援と集団における支援を行います。	
サービス提供時間		送迎実施の有無	あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	食事や排せつ、衣類の着脱（みだしなみ）など健康的な生活を送るための支援を行います。また、手洗いや消毒など感染防止に関する支援も行います。これらの支援は、本児が進んで自ら行えるよう、本児の特性や現状に合わせた支援を行います。	
	運動・感覚	姿勢保持や筋力の維持強化を図ります。運動や動作が困難な場合は身体移動の補助等を行い、日常生活に必要な基本的技能の向上のための支援を行います。集団における運動活動として、体育館においてスポーツ活動を実施します。	
	認知・行動	その日の活動について、書面や表をもって視覚的な技法を用いて、本児が入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。また、時計の読み取りを通じて集団生活における時間管理に関する支援を行います。ABA（適用行動分析）に基づいた対策。	
	言語・コミュニケーション	言葉や文字（読み書き）を用いて、自分の考えや思いを言語で表出出来る（伝えられる）よう支援します。また、不適切な言葉や表現方法に対しては、人やその場に応じた適切な取り扱いが出来るよう、本児が理解できる方法で時間をかけて対処いたします。	
	人間関係・社会性	本児の感情が不安定になったり、他児からの働きかけを受け止められない状況の際は、本児が相談できる環境を構築し、安心して過ごせる場づくりのための支援を行います。役割やルールなど社会生活に必要な発達支援を行います。	
家族支援		家族全体（本児の両親や兄弟など）に対し、本児の進路や生活における困りごとなどの相談に応じます。卒業後の地域生活に関する情報提供。	移行支援 進学や放課後児童クラブ等の併用利用等、本児の生活向上のための移行支援を行います。その際は学校等と連携し、本児が円滑に移行できる支援を行います。
地域支援・地域連携		地域が開催する、運動会や季節行事への参加を企画し、本児が地域において障がいのない子供との活動をもってインクルーシブ（共生生活）地域に理解される機会を作ります。	職員の質の向上 本児へ提供する支援の質の向上、定期的に職員に対し研修（個別支援計画の作成、コミュニケーション支援等）を密に行い、職員の質の向上を図ります。
行事・レクリエーション		季節の行事（初詣、節分、お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス会など） クッキング、工場見学、お祭り、買い物学習活動ほか 防災訓練（避難訓練、消火訓練、その他避難場所の確認や地域自主防衛隊との連携訓練。	